

第8回 栄養管理指導者協議会（リーダーズ） 学術集会：「栄養」100年イベント

開催の目的

2018年は、栄養学の父、佐伯矩先生が Nutrition に対する表記を「營養」から「栄養」に統一するよう文部省に建言して100年です。また、Dudrick先生がTPNの成功を論文を発表して50年、そのDudrick先生がHyperalimentation team(現在のNST)を世界で初めて組織して50年です。この記念の年に、日本の「栄養」を見直す機会として「栄養」100年イベントを、「栄養寺」がある、「佐伯矩の故郷」である愛媛県で開催します。

食べる事「食事」を、体内に取り込んで栄養として代謝する、それこそが「栄養」だと佐伯先生が「栄養学」という世界を開いて100年です。その50年後に、食べられない患者に栄養を投与する方法が確立されて50年です。その歴史を知らずして、本物の栄養管理を実施できるはずがありません。また、日本では臨床栄養関連企業と医療界が協力して現在の臨床栄養の領域を切り開いたのですが、その歴史をご存じでしょうか。臨床栄養関連企業の貢献度は非常に高いと思います。

臨床栄養の次へのステップへ進むため、そして本物のMedical Nutritionistになるため、この機会に日本の臨床「栄養」の歴史を理解することは極めて重要です。

日時：2018年11月25日 9:30～16:00

場所：愛媛県松山市立子規記念博物館（俳聖正岡子規）

内容 ○ 特別講演 神奈川県立保健福祉大学 学長 中村丁次先生

（仮題：近代臨床栄養学の歴史）

○ 記念講演 元厚生労働省 初代栄養指導官 原正俊先生（佐伯矩先生の最後の教え子）

（仮題：本邦における栄養行政の歴史）

○ シンポジウムI 私の栄養管理履歴と将来展望（講演依頼中）

○ 講和：栄養寺住職 高橋宏文師

○ シンポジウムII 臨床栄養に貢献した臨床栄養関連企業の歴史と今後の展望（募集中）

○ 講演：静脈栄養・経腸栄養の歴史と「漢字：栄養」の歴史（井上善文）

イベント内容

* 愛媛県伊予市灘町52 栄養寺 <http://otera.jodo.or.jp/temple/41-031/> 参拝

11月24日に参拝していただくと、高橋住職が案内してくれます。栄養学の創始者：佐伯矩先生は当山の近くに住んでおられ、先生の筆による「栄養」の書が残っています。佐伯矩先生の記念碑もあります。

*懇親会 11月24日夜 前夜祭として懇親会を開催（松山市駅、高島屋 イベントホール）

